

分野：国際

タイトル 日本経済の今後の成長について

下井 直毅 経営情報学部 経営情報学科 教授

多摩大学教員サイト URL

<https://www.tama.ac.jp/guide/teacher/shimoi.html>

キーワード

日本経済、世界経済、国際貿易

概要

大きな研究テーマは、日本経済の成長である。今後の日本経済の成長の源泉はどこにあるのかということを中心に、雇用のあり方や貿易制度のあり方なども含めて研究を行なっている。

今日、日本経済は多くの課題に直面している。膨れ上がる財政赤字、なかなか脱却できずにいるデフレ問題、貧困と格差の問題、社会保障と税のあり方など、多くの課題が山積している。しかし、こうした問題は、リーマンショック後の世界経済や少子高齢化が進んでいる先進各国でも生じている、今後世界でも見られるであろうとされる共通の課題でもある。

こうした課題をいかに克服して、日本経済が今後いかに経済成長を遂げることができるかということを探し、我が国の経済発展に寄与したいと考えている。

具体的な現在の研究テーマとしては、付加価値輸出の実証分析を通じて、国際的な生産工程間の分業が構築される中で、比較優位の決定要因を明らかにするというところを行っている。実際に、国際産業連関表を用いて、付加価値輸出額の大きさを測り、それに基づいて「顕示比較優位指数」を求め、従来の比較優位の決定要因についての実証的分析と比較し、比較優位の決定要因の変化を検討している。

利用・用途

応用分野

国際貿易の研究を通じて、グローバルバリューチェーン（GVC）が構築される中で、付加価値貿易から見た比較優位に対して、各国の国内の労働市場の特徴がどのような影響を与えるのかを実証的に明らかにする。これによって、GVCの構築と補完的な国内労働市場の特徴を明らかにし、GVCが構築される中で、国内の雇用制度改革をどのように進めていくべきなのか、逆に、比較劣位とされる産業では、どのような雇用対策を考えたらいいのか、といった比較優位あるいは比較劣位の産業と雇用の制度や促進の方法について模索し、政策提言を試みる。

関連論文・著書

1. 「上級 国際貿易－理論と実証－」（翻訳）、日本評論社、2021年7月。
2. 「入門 マクロ経済学（第6版）」（共著）、日本評論社、2021年2月。
3. 「付加価値貿易における比較優位指数について」多摩大学研究紀要、No. 25、103-118頁、2021年。
4. 「これからの日中韓経済学（キャンパス・アジア共通教科書）」（共著）、えにし書房、2018年3月。
5. 「日本経済が直面する様々な課題について」（共著）（『東アジアの経済協力と共通利益』キャンパス・アジア共通教科書、岡山大学、2015年3月）、49-68頁（第4章）。
6. 「財政再建を成功させるための財政規律のあり方－諸外国の事例と日本への含意－」（共著）（『財政再建の道筋－震災を超えて次世代に健全な財政を引継ぐために』総合研究開発機構（NIRA）研究報告書、2011年4月）、79-94頁（第4章）。

多摩大学 学長室
206-0022 東京都 多摩市聖ヶ丘4-1-1
TEL:042-337-7300 FAX:042-337-7103
E-Mail: hisho@gr.tama.ac.jp
URL: <http://www.tama.ac.jp/>



TAMA UNIVERSITY
多摩大学